

2. 「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」アンケート評価

受講者数：計 34 名

I 本取組に関する共通の質問

I-1 【属性について】

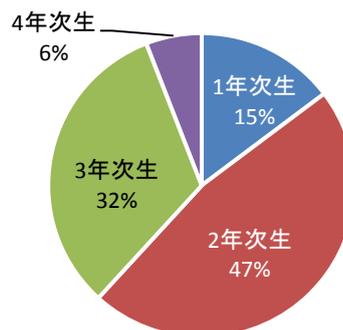
- ・本年度は、全体で 7 大学 1 高等専門学校、12 学科から受講があった。例年同様、アニマルバイオサイエンス、生命工学、栄養、地域経済など、食・農に間接的に関連している専攻の学生が比較的多く受講しているが、その一方で美術、電気など全く関連のない分野からの受講もあった。受講生の 7 割近くが女性であった。
- ・フィールド教育の経験については、「ある」と回答した学生は 25% で、そのうち半分は大学入学後であった。一方で 75% が「ない」と回答しており、昨年（67%）と比較して割合が高くなっていた。

I-1-1) 所属大学・学部（コース等）

- 長浜バイオ大学 アニマルバイオサイエンス学科：9 名
- 福山大学 生命工学部：8 名
 - （ 海洋生物学科：5 名
 - （ 生命栄養科学科：2 名
 - （ 生物工学科：1 名
- 比治山大学 美術学科：4 名
- 山口県立大学 看護栄養学部 栄養学科：4 名
- 呉工業高等専門学校：3 名
 - （ 電気情報工学科：2 名
 - （ 環境都市工学科：1 名
- 安田女子大学 家政学科 管理栄養学科：3 名
- 広島経済大学 経済学部：2 名
 - （ 国際地域経済学科：1 名
 - （ 経営学科：1 名
- 広島女学院大学 生活科学部 管理栄養学科：1 名

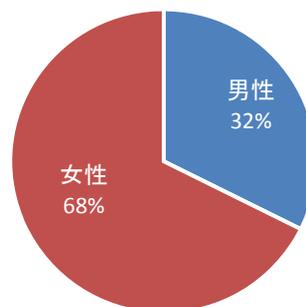
I-1-2) 学年

- 1 年次生：5 名
- 2 年次生：16 名
- 3 年次生：12 名
- 4 年次生：2 名



I-1-3) 性別

- 男性：11名
- 女性：23名

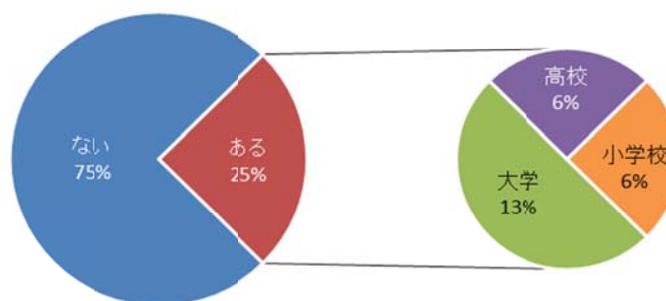


I-1-4) この演習以外に、これまでにフィールドを利用した授業を受けた経験があるか

ある：20名，ない：19名

I-1-5) それほどの時期か(複数可)

- 大学：4名
- 高校：2名
- 中学校：該当者なし
- 小学校：2名



I-1-6) 授業の内容

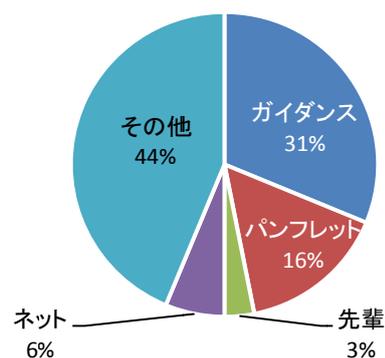
- 授業（高校が農業高校）
- 田植え～稲刈り
- みかんの収穫
- 学級菜園・農家の手伝い（ナシ、ブドウ）
- 広島大学生物生産学部の漁業体験
- 芋の栽培
- 磯の生物層の観察
- 野菜の栽培（トマト、ナス）
- 川の調査

I-2 【この授業に参加するにあたっての情報入手について】

・主な情報入手手段は「ガイダンス」(31%)「パンフレット」(16%)で、半数近くの学生がこのどちらかによって情報を入手したと回答している。特に、ガイダンスと回答した学生が、昨年は20% (5名) だったのに対し、今年度は31% (10名) に増加しているため、各大学におけるガイダンスが周知手段として有効であったものと考えられる。

授業のことを、何を通して知ったか(複数可)

- ガイダンス：10名
- パンフレット：5名
- 先輩から：1名
- ネット：2名
- その他：14名
- 無回答：2名

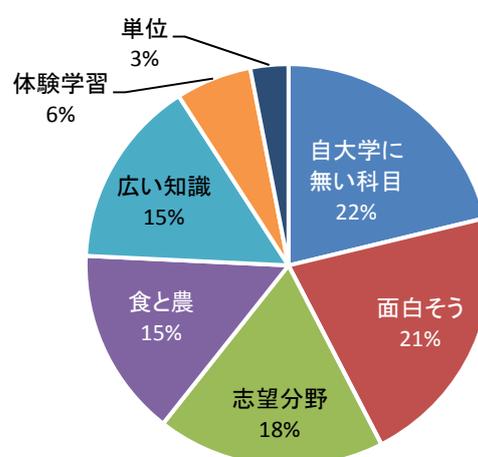


I-3 【この授業に参加された理由について】

・授業参加の最も強い動機は、「自大学にない科目だから」「面白そうだから」が共に21%（7名）で最も回答が多かった。これらの項目は二番目の動機としても上位に上がっている。学生にとっては所属する大学で学ぶことができない分野の授業を受講できることは大きな魅力であるようである。また、演習の内容について多くの学生が「面白そう」と感じており、受講を決める大きな要因となっている。また、「志望分野に関連するから」（18%）、「食と農について学べるから」（15%）、「広い知識を得たいから」（15%）などが上位にあがった。今年度は開講に際して予め受講者の選抜を行ったため、全体的に本演習のテーマである「食と農」に関心を持つ学生が多かった。

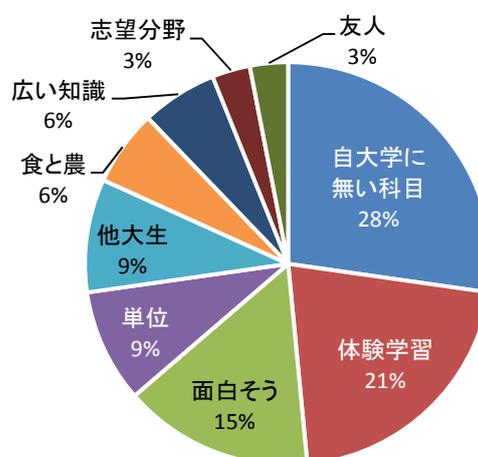
I-3-1) 最も強い動機はどれだったか

- 自分の大学には無い授業科目だから：7名
- 体験学習だから：2名
- 単位が取得できるから：1名
- 現在の志望分野に関係するから：6名
- 食と農について学べるから：5名
- 広い知識を得たいから：5名
- 他大学のことを知りたいから：該当者なし
- 他大学の学生と交流できるから：該当者なし
- 友人が参加するから：該当者なし
- おもしろそうだから：7名
- その他（自由記述）：該当者なし



I-3-2) 二番目に強い動機はどれだったか

- 自分の大学には無い授業科目だから：9名
- 体験学習だから：7名
- 単位が取得できるから：3名
- 現在の志望分野に関係するから：1名
- 食と農について学べるから：2名
- 広い知識を得たいから：2名
- 他大学のことを知りたいから：該当者なし
- 他大学の学生と交流できるから：3名
- 友人が参加するから：1名
- おもしろそうだから：5名
- その他（自由記述）：該当者なし

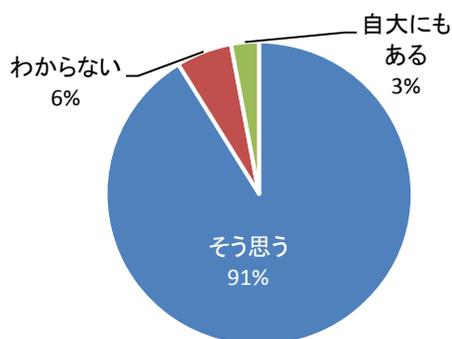


I-4 【広島大学で授業を受けた感想】

- ・91%の学生が、本演習を自分の大学にはない授業であると答えている。
- ・「他大学の先生の授業を受講できて良かったか」という問いに対しても、79%（27名）が「強く思う」と回答しており、他大学の教員から授業を受けることが良い経験になっていると評価している。

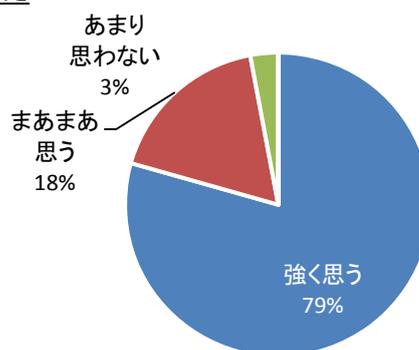
I-4-1) 今回受講したフィールド教育に類する授業は、自大学にはない科目・内容だった

- そう思う：31名
- 自分の大学にも類する科目がある：1名
- わからない：2名



I-4-2) 他大学の先生の授業を受講できて良かった

- 強く思う：27名
- まあまあ思う：6名
- あまり思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし

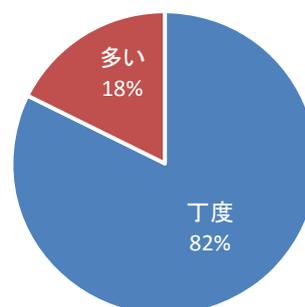


I-5 【他大学の学生との交流等について】

- ・授業の定員については、「丁度良い」が80%と大半をしめていたが、「多すぎる」とした学生も20%いた。これは、「東洋英和女学院大学による農場を利用した食農演習」受講生のアンケートでも概ね同様の回答を得ている。毎年受講希望者が多いことから、なるべく多くの受講者を参加してもらおうとすると、定員を超過してしまうことになるので、定員については、そのあたりのバランスを考慮したい。
- ・他大生と受講することについては、昨年同様、「大変良かった」とする学生が8割を超え、交流の機会を増やすのは良いことだ、という問いに対しても「強く思う」が94%（32名）に達した。「交流がどの程度できたか」という設問に対しては、「活発にできた」が38%、「まあまあできた」が56%であったことから、非常に活発な交流が行われたと考えられ

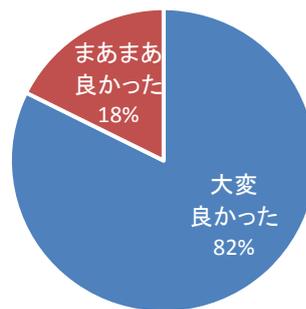
I-5-1) 今回の授業の受講者数（34名+東洋英和女学院大学15名 計49名）は、

- 多すぎる：6名
- 丁度良い：28名
- 少なすぎる：該当者なし



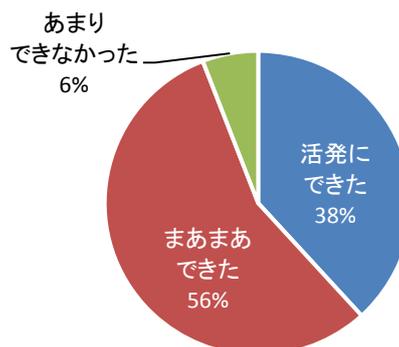
I-5-2) 他大学の学生と同じ授業を受けたことについて

- 大変良かった：28名
- まあまあ良かった：6名
- あまり良くなかった：該当者なし
- 悪かった：該当者なし



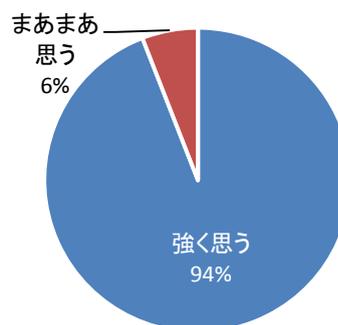
I-5-3) 他大学の学生と交流がどの程度できたと思うか

- 活発にできた：13名
- まあまあできた：19名
- あまりできなかった：2名
- 全くできなかった：該当者なし



I-5-4) 今後も、他大学の学生との交流機会を増やすのは良いことだ

- 強くそう思う：32名
- まあまあそう思う：2名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし

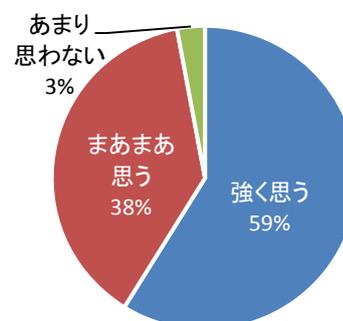


I-6 【この授業は、4日間の集中形式で、講義、実習、発表の3部から構成されている】

- ・講義、実習、発表の3部構成については、概ね大半の学生が授業を理解するうえで有効であると回答している。また、最も面白かったのは94%が「実習」であった。
- ・日程については、学生の体力的な問題を鑑み、昨年度と比較して実習内容を減らすなどスケジュールの調整を行った。3泊4日という日程について、9割近くが「丁度いい」と回答しているが、「長すぎる」という回答が12%あった。これは、昨年度「短すぎる」という回答が26%を占めたのと対照的である。

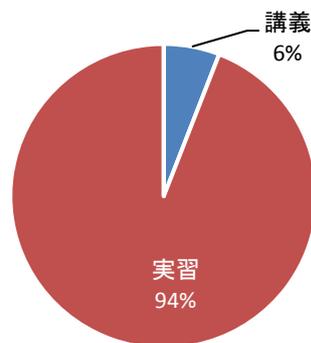
I-6-1) こうした組合せは、授業を理解する上で有効である

- 強くそう思う：20名
- まあまあそう思う：13名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



I-6-3) 3つの部分のうち、最も面白かったもの

- 講義：2名
- 実習：32名
- 発表：該当者なし



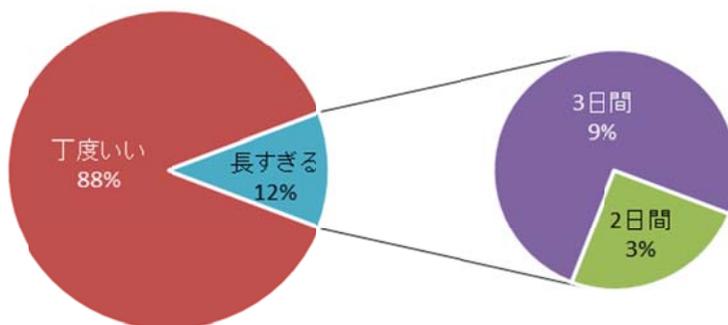
I-6-3) 3泊4日の日数について

- 長すぎる：4名



I-6-4) 何日間なら良いか

- 1単位になっても2日間が良い：1名
- 1単位になっても3日間が良い：3名
- 丁度良い：30名
- 短すぎる：該当者なし

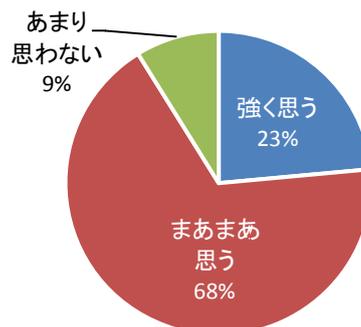


I-7 【参加費に関して】

- ・参加費については、9割以上の学生が妥当であると回答している。
- ・「参加費から考えて食事に満足できたか」という問いに対して、「あまり思わない」(38%)、「全く思わない」(6%)という不満が4割以上を占め、昨年度と比較して(「あまり思わない」(11%)、「全く思わない」(4%))満足度が大幅に減少している。食事については、今年度も業者を再検討し、実習で実際に受講生が作ったカレーやヨーグルトなどを食事として提供するなど、食と農の結びつきについて考えられるよう考慮したが、来年度は食事の内容と食農教育という両面から再度検討したい。

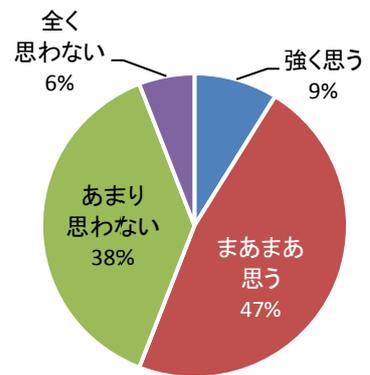
I-7-1) 自分の得たもの考えると参加費は妥当か

- 強くそう思う：8名
- まあまあそう思う：23名
- あまりそう思わない：3名
- 全く思わない：該当者なし



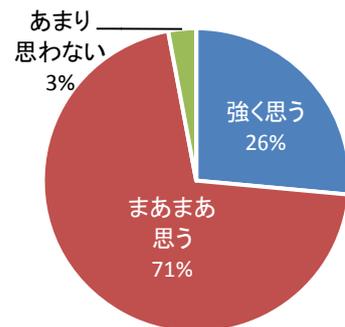
I-7-2) 参加費(実費)から考えて、食事は満足できたか

- 強くそう思う：3名
- まあまあそう思う：16名
- あまりそう思わない：13名
- 全く思わない：2名



I-7-3) 参加費(実費)から考えて、宿泊施設には満足できたか

- 強くそう思う：9名
- まあまあそう思う：24名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



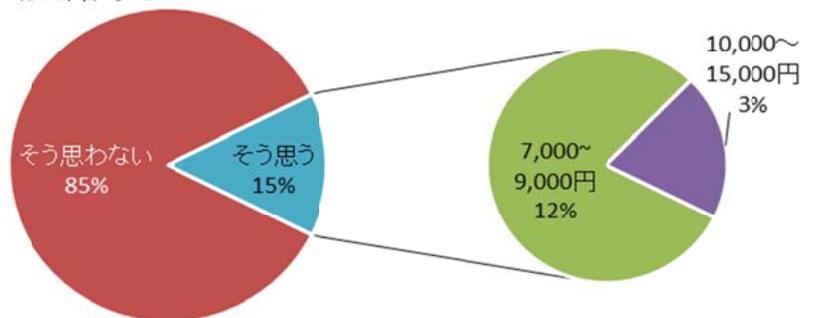
I-7-4) 参加費(実費)をもっと高くしても食事と宿泊施設を良くしてほしいか

- そう思う：5名



I-7-5) 参加費(実費)がどの程度までなら参加するか

- 7,000~9,000円：4名
 - 10,000~15,000円：1名
 - 16000~20,000円：該当者なし
 - 21,000~25,000円：該当者なし
- そう思わない：29名



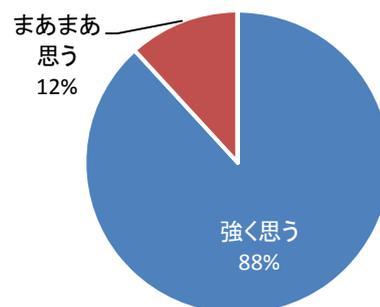
I-8 【食農フィールド科学演習全体について】

- ・受講生全員が、フィールド教育の有効性について肯定的な意見を示している。また、演習のテーマである「食と農」に関連する設問として、「食べ物と命の関連性」「食料生産の重要性」について考えるようになった、という回答が大半を占め、この分野に対して大きな教育的効果があった。
- ・「コミュニケーションスキル」「チームワーク」「リーダーシップ」育成については、例年課題であったが、今年度の受講生については、「コミュニケーションスキル」については97%、「チームワーク」については94%、「リーダーシップ」についても80%の学生が高まったと回答しており、大幅な改善がみられた。

I-8-1) このフィールド科学演習の形式は通常の

講義だけの授業よりも、物事を考える上で、有意義である

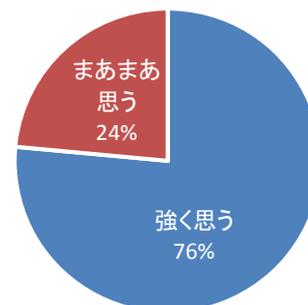
- 強くそう思う：30名
- まあまあそう思う：4名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



I-8-2) この演習によって、フィールド科学の幅広さや

面白さを知った

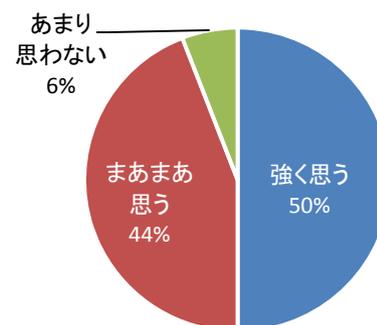
- 強くそう思う：26名
- まあまあそう思う：8名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



I-8-3) 今回の演習を受講してこの分野について

もっと知りたくなった

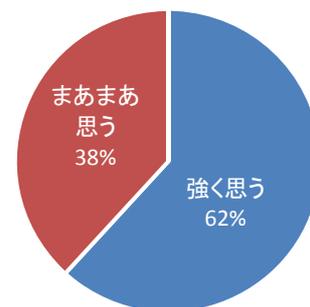
- 強くそう思う：17名
- まあまあそう思う：15名
- あまりそう思わない：2名
- 全く思わない：該当者なし



I-8-4) この演習によって、農学系学問分野（食と農の関わりを含む）への理解が深まり、視野

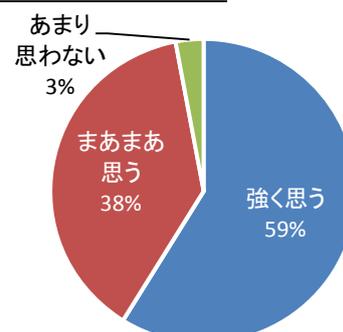
を広く持てるようになった

- 強くそう思う：21名
- まあまあそう思う：13名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



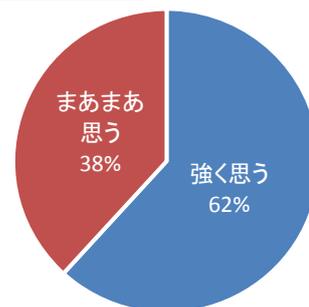
I-8-5) この演習によって、食べ物と命の関連性について考えるようになった

- 強くそう思う：20名
- まあまあそう思う：13名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



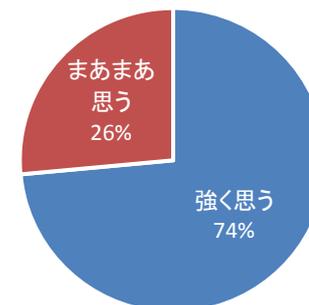
I-8-6) この演習によって、食料生産の重要性について考えるようになった

- 強くそう思う：21名
- まあまあそう思う：13名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



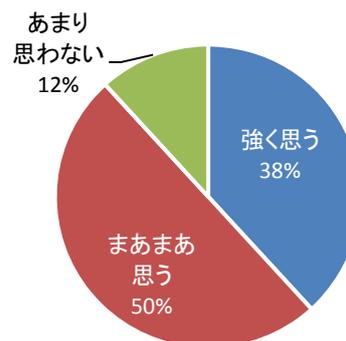
I-8-7) この演習によって、今後も食と農に対して関心を持ち続けたいと思うようになった

- 強くそう思う：25名
- まあまあそう思う：9名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



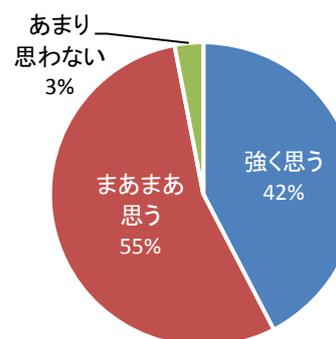
I-8-8) この演習によって、自分なりに行動力や積極性を高めることができた

- 強くそう思う：13名
- まあまあそう思う：17名
- あまりそう思わない：4名
- 全く思わない：該当者なし



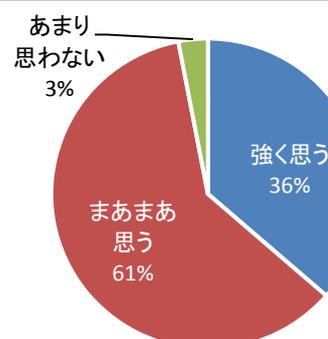
I-8-9) この演習によって、これからの学習意欲が高まった

- 強くそう思う：14名
- まあまあそう思う：18名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



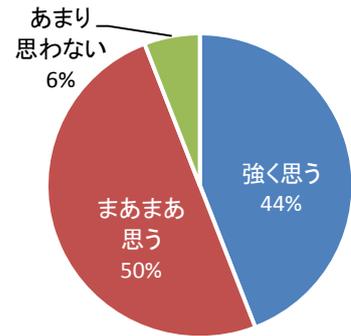
I-8-10) 他大学の学生と交流することによって、コミュニケーションスキルが高まった

- 強くそう思う：12名
- まあまあそう思う：20名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



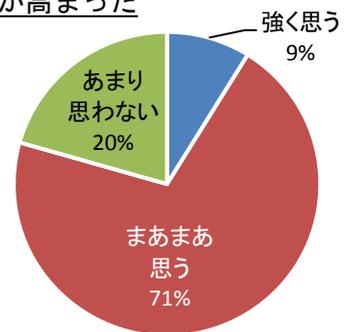
I-8-11) グループ単位の実習によって、チームワークに対する意識が高まった

- 強くそう思う：15名
- まあまあそう思う：17名
- あまりそう思わない：2名
- 全く思わない：該当者なし



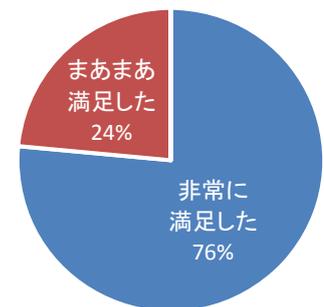
I-8-12) グループ単位の実習によって、リーダーシップをとる力が高まった

- 強くそう思う：3名
- まあまあそう思う：24名
- あまりそう思わない：7名
- 全く思わない：該当者なし



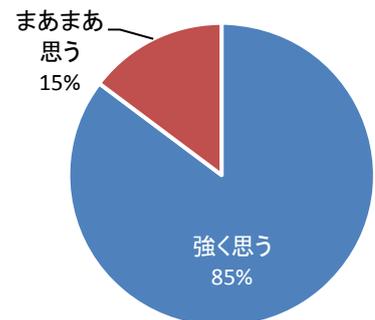
I-8-13) 参加する前の期待度に比べて満足度はどうか

- 非常に満足した：26名
- まあまあ満足した：8名
- あまり満足できない：該当者なし
- 全く満足できない：該当者なし



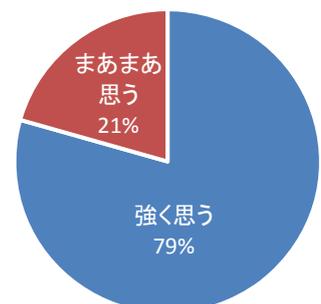
I-8-14) この演習を来年度以降も開講するのが良い

- 強くそう思う：29名
- まあまあそう思う：5名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



I-8-15) 今回の演習を受講して後輩にも勧めたいと思ったか

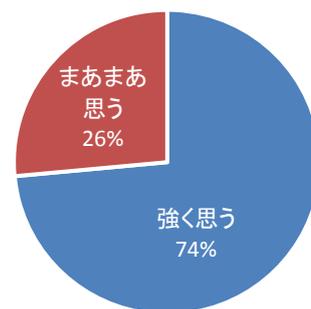
- 強くそう思う：27名
- まあまあそう思う：7名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



I-9 【その他】

I-9-1) フィールド科学演習以外にも他大学の講義を受講できる機会をもっと増やして欲しいか

- 強く思う：25名
- まあまあ思う：9名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



I-9-2) フィールド科学演習一般についての受講者の意見

大多数の回答がフィールド演習“一般”についてではなく“今回の演習”に対する感想・要望であった。

<回答者数：30名，無回答者数：4名，のべ回答数：33>

《授業に対する要望》

- もっと外での実習を増やしてほしい。
- 搾乳ロボットが見られない班だったので、残念だった。
- もっと活動したかった。
- 体験学習で見る時間が多く、効率が悪かった。
- 班ごとの活動だったので、班によって知っている情報と知らない情報がばらばらだったので、教える側はマニュアルを作った方が良い。
- 他の動物もいてほしい。
- 次の行動に移るための説明が長く、待ち時間が多く、時間ももったいなかった。
- 最終日の発表から修了証書授与式の間トイレ休憩を挟んでほしい。

《授業の良かった点》

- 生まれて初めてのことが多く、新しい世界を知ることができた。
- 普段できない経験ができ、食に対する意識も高まるので良いことだと思う。
- 全く関係のない学部、他大学の人と寝食を共にしてふれあえること。
- お金や時間がかかるので、気軽に参加できないが、得られるものは大きい。
- フィールド演習をすることで自分で触れることができた。
- 今後は地域の生態系などのフィールド演習にも参加してみたい。
- 実際に外に出て体験できるのは良いことだと思う。
- 普段できないことができ、興味のきっかけとなった。
- 体験型の学習は知識が身に付きやすく効果的だと思う。
- 普段できない体験ができる。
- 整った設備の中で実習ができた。
- いろいろな人とコミュニケーションがとれ、楽しかった。
- 先生やTAのおかげで有意義な活動になった。
- 1つのことを皆でできる。
- 普段、農業に関わらない人の意識を変える良い機会だと思った。
- 話を聞くだけでなく実際に作業をしたので印象に残って良かった。

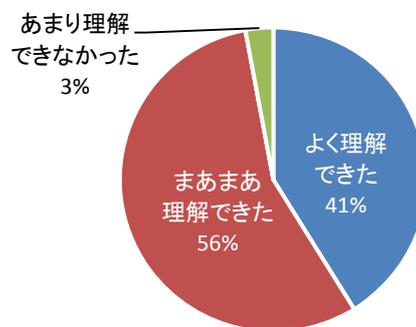
- 実践できるところが良い。
- とても有意義に過ごせた。
- 滅多にない体験ができた。
- 五感を使って勉強した知識と関連づけて学べるので記憶に残りやすく、楽しい。
- 広島大学のような設備の無い大学の学生にとっては近くで動物と触れ合えるような演習を受けられるのはうれしい。
- 今後の勉強にも生かせると思う。
- 他大学の人と交流できた。
- 普段と違う内容の授業で刺激を受けた。
- 自分で体験しながら学ぶことで、教科書で学ぶより頭に入って来るので有意義だと思う。

II 授業に関する質問（この演習は、講義、実習、発表等から構成されている）

II-1 【今回の講義に関する質問】

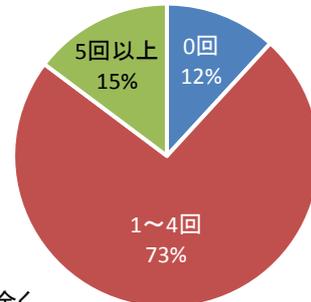
II-1-1) 講義内容について

- よく理解できた：14名
- まあまあ理解できた：19名
- あまり理解できなかった：1名
- 全く理解できなかった：該当者なし



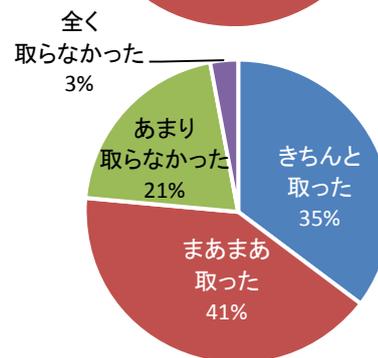
II-1-2) 講義の内容について教員や補助者に何回、質問をしたり、意見を述べたりしたか

- 0回：4名
- 1～4回：25名
- 5回以上：5名



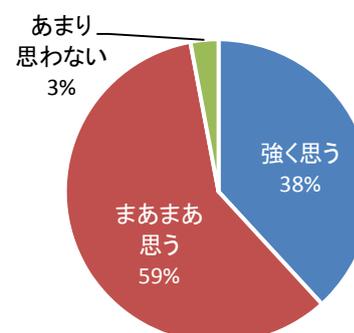
II-1-3) 講義のノートやメモを取ったか

- きちんと取った：12名
- まあまあ取った：14名
- あまり取らなかった：7名
- 全く取らなかった：1名



II-1-4) 講義内容は、この授業全体や実習の意味や目的、内容を理解させるものでしたか

- 強くそう思う：13名
- まあまあそう思う：20名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし



Ⅱ-1-5) 講義のどのような部分が面白かったか

<回答者数：32名，無回答者数：2名，のべ回答数：34>

《飼料作物について》

- 目の前で実験しながら聞く、作物の授業は面白かった。
- 作業を実際に自分で行いながらできた点（トウモロコシ）。
- コーンを採取して実験したこと。
- 畑から実際にとったトウモロコシを使って実験したこと。
- トウモロコシのデンプン量の違いについて。
- トウモロコシの授業。
- エサの話。

《ウシや牛乳について》

- 乳牛の搾乳サイクルや出荷の価格。
- 谷田先生のお話で、ウシは大変な生活をしていると聞き、かわいそうに思った。
- 夜に聞いた乳牛の話。
- ウシの妊娠、出産と乳量の関係。
- ウシについて知れたこと。
- 身近な乳製品のまめ知識。

《体験学習について》

- 実験もできて目で見ることができた。
- 実習で行ったことを補足して発展させている内容。
- 実物を使って授業をするところ。
- 実際に見られたこと。
- いろいろな道具や実験を見られたこと。

《食品加工について》

- 食品加工のしくみ。
- レトルト食品の製造工程。
- ヨーグルト作り。
- レトルト食品の製造。

《教員について》

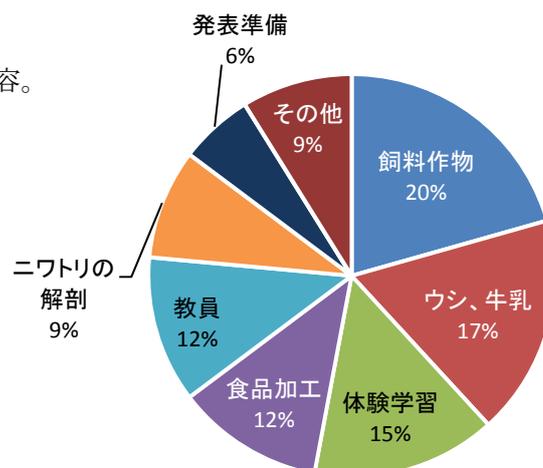
- どの教授も気さくで話が面白く、質問をしやすかった。
- 先生が所々に小ネタを挟んでくれたので、飽きなかった。
- 吉村先生の解剖実習が分かりやすかった。
- 解剖で先生の説明が分かりやすかった。

《ニワトリの解剖について》

- ニワトリの解剖などで実際に作業しながらできた点こと。
- ニワトリの解剖では実際に触れて楽しかった。
- ニワトリの解剖。

《発表について》

- 発表のパワーポイントの作成。
- 発表準備で皆が同じゴールを目指している感じが良かった。他大学の人の意見を聞くことも



勉強になった。

《その他》

- 知らなかったことを知れた。
- 自分の知らないことを知れるということ。
- 動物の動きから家畜がどのような生物か感じられた。

Ⅱ-1-5) 講義のどのような部分が理解しにくかったか

<回答者数：22名（特になし：4名）、無回答者数：8名、のべ回答数：24>

《専門用語について》

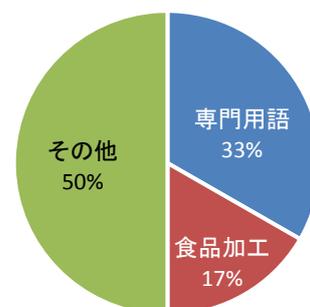
- 専門用語がわからなかった。（8名）

《食品加工について》

- レトルト食品の話。
- チーズやヨーグルトのできるしくみ。
- レトルト食品の製造では人数が多く、内容が頭に入って来なかった。

《その他》

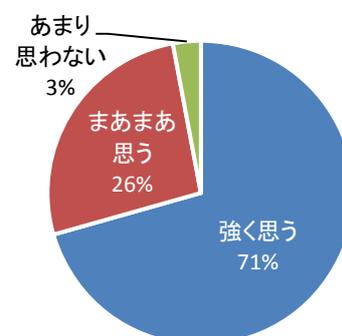
- 畜動物についての特徴。
- 畜産の経営について。
- もっと細かいメカニズムの説明が聞きたかった。
- 飼育者の立場になって考えること。
- 牛乳の種類。
- 濃厚資料や粗飼料の話。
- 言葉だけでなく、図や表を使ってほしい。
- 夜は時間帯的に頭に入って来なかった。
- ウシ以外の家畜の授業でも説明して欲しい。
- 席が後ろだと文字が見えなかった。
- コーンの糖度計が上手く使えなかった。
- トウモロコシのデンプンと糖度の関係。



Ⅱ-2 【今回の実習に関する質問】

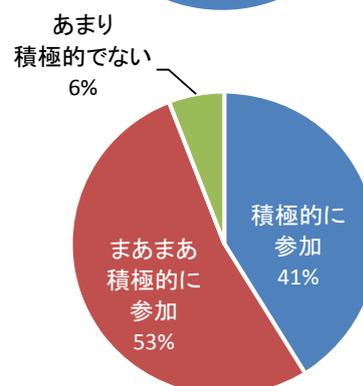
Ⅱ-2-1) 実習は面白かったか

- 強くそう思う：24名
- まあまあそう思う：9名
- あまりそう思わない：該当者なし
- 全く思わない：該当者なし



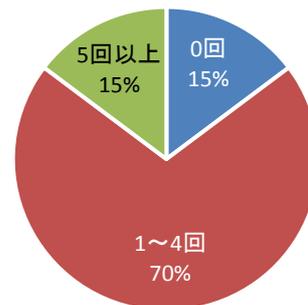
Ⅱ-2-2) 実習にどのように参加したか

- 積極的に参加した：14名
- まあまあ積極的だった：18名
- あまり積極的でなかった：2名
- 全く積極的でなかった：該当者なし



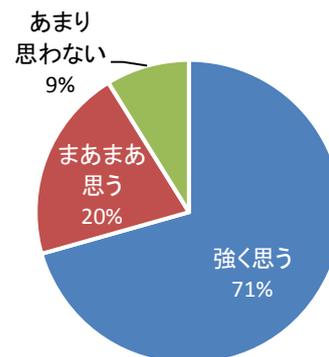
Ⅱ-2-3) 実習の際、教員や補助者に何回、質問をしたり、意見を述べたりしたか

- 0回：5名
- 1～4回：24名
- 5回以上：5名



Ⅱ-2-4) 実習があることによって講義内容を理解できるようになりましたか

- 強くそう思う：24名
- まあまあそう思う：7名
- あまりそう思わない：3名
- 全く思わない：該当者なし



Ⅱ-2-5) 実習で面白かったのはどのような点か

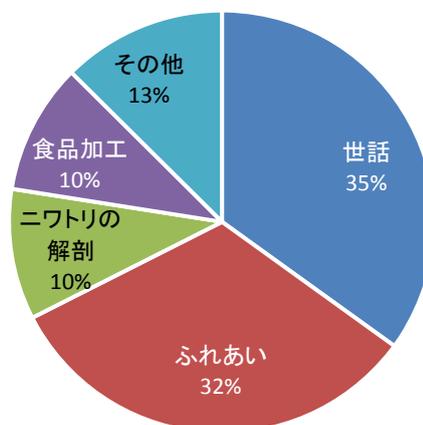
<回答者数：32名，無回答者数：2名，のべ回答数：40>

《家畜の世話について》

- 搾乳やエサ作りができたこと。
- エサやり。(3名)
- エサ作りや搾乳など普段の生活ではできないことができた。
- エサやりの時にウシやヤギ、ヒツジの顔を見ながらあげられたこと。
- 搾乳の際、前搾りや病気の検査をして現場の仕事ができたこと。
- 搾乳体験。(7名)

《家畜とのふれあいについて》

- 動物とふれあえたこと。
- ウシとのふれあい。
- 子ヤギとのふれあい。
- ウシなどの動物に触れられたこと。
- ウシやヒツジのエサやりで身近に感じられた。
- ヒツジやヤギと戯れたこと。
- いろいろな動物に触れ合えた。
- ウシやブタと触れ合えた。
- ヒツジを見られたこと。
- ヒツジの鳴き声。
- ウシやヤギとのふれあい。
- 子ヤギを抱いたこと。
- ウシや動物と触れ合えたこと。



《ニワトリの解剖について》

- ニワトリの解剖。(4名)

《食品加工について》

- カレーのレトルト加工過程を体験できた。(3名)
- 乳搾りだけでなく、それが食品になることがわかったこと。

《その他》

- 話だけではわからないことを体験を通して理解できたこと。
- 搾乳ロボットが日本で見られたこと。
- 技術職員さんにウシについて教えてもらえたこと。
- 自分の誤った認識や忘れていたことを確認できた。
- 食品となる家畜を育てている現場を見たこと。

Ⅱ-2-6) 実習で改善してほしいのはどのような点か

＜回答者数：16名（特になし：12名），無回答者数：6名，のべ回答数：17＞

《班ごとの実習内容の差について》

- 班によって見られないものがあったこと。
- 自動搾乳機を見られなかったこと。
- 全員が平等にできると良いと思った。
- 班によって内容が偏っていたこと。
- グループによって見学の内容が違うこと。せめて、設備だけでも全部見たかった。

《時間について》

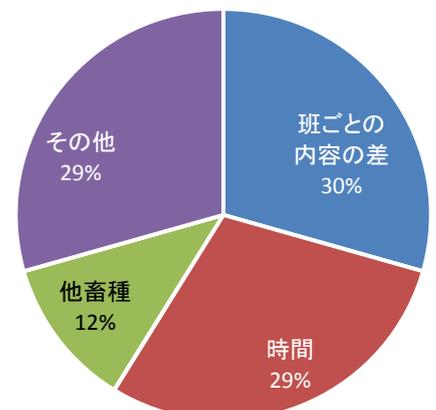
- 作業が限られていて、見る時間が長いこと。
- 時間が少ないと感じた。
- 休憩時間をきちんと決めてほしい。
- 作業を一度にできる人数が限られているので、見ている時間が長かった。
- 食品加工の実習が慌ただしかった。

《他畜種について》

- ウシ以外のことも知りたい。
- ブタやニワトリについても取り上げるべき。ニワトリについては解剖だけだったので、成長とかの説明も聞きたい。

《その他》

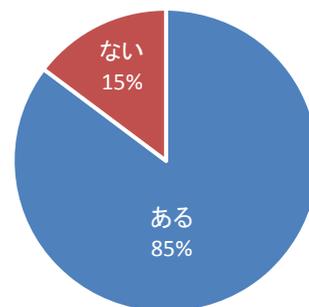
- 「ペーハー」など時々わからない言葉が出てきたこと。
- もっとふれあって、写真を撮りたかった。
- 農場内で自由時間が欲しかった。
- ニワトリの解剖がショックだった。
- レトルト加工は少し退屈だった。



II-3 【今回の発表会に関する質問】

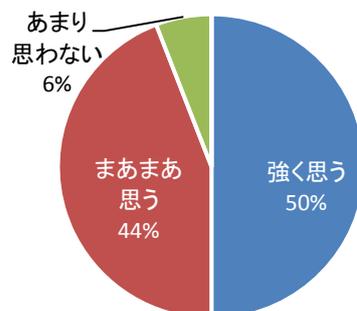
II-3-1) これまでに発表会の経験があるか

- ある：29名
- ない：5名



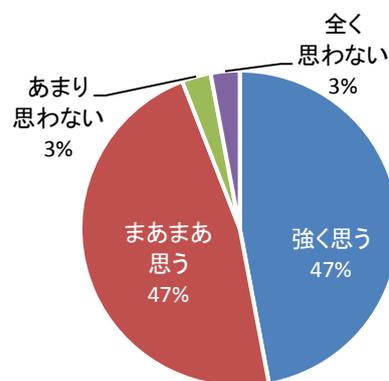
II-3-2) 発表会は大変苦労したか

- 強くそう思う：17名
- まあまあそう思う：15名
- あまりそう思わない：2名
- 全く思わない：該当者なし



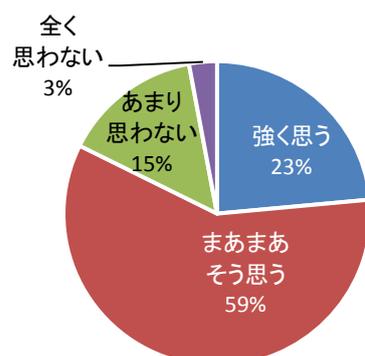
II-3-3) 発表のチームワークは上手くできたか

- 強くそう思う：16名
- まあまあそう思う：16名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：1名



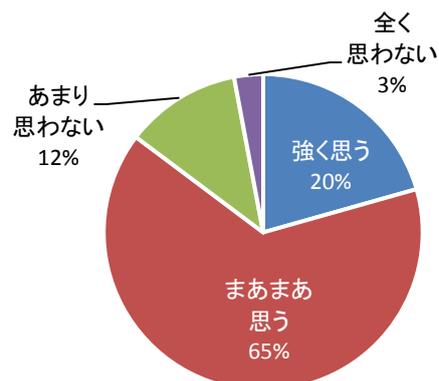
II-3-4) 発表内容に満足しているか

- 強くそう思う：8名
- まあまあそう思う：20名
- あまりそう思わない：5名
- 全く思わない：1名



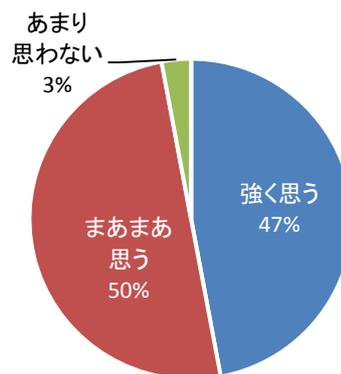
II-3-5) 発表のための基礎的な手法が身に着いたか

- 強くそう思う：7名
- まあまあそう思う：22名
- あまりそう思わない：4名
- 全く思わない：1名



Ⅱ-3-6) 発表会をすることで、講義や実習内容がより理解でき、有意義だったか

- 強くそう思う：16名
- まあまあそう思う：17名
- あまりそう思わない：1名
- 全く思わない：該当者なし

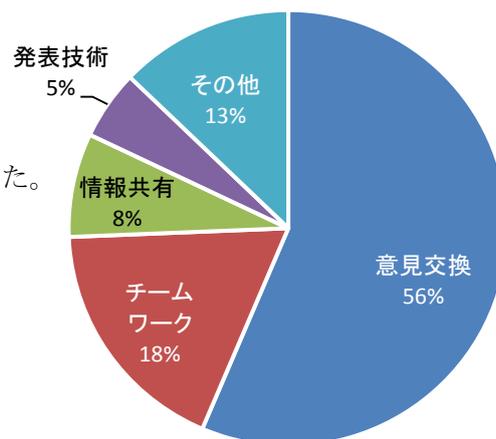


Ⅱ-3-7) 発表で良かったのはどのような点か

<回答者数：34名、のべ回答数：39>

《意見交換》

- 皆が食と農について考えたこと。
- 学校の違ういろいろな人の視点からの意見を聞いた。
- 専門分野の違う人の意見を聞いたこと。
- 他の人の意見を聞いて自分の意見を深めることができた。
- 皆の考えが違って面白かった。
- グループごとで考えが違い、視点を変えられたこと。
- グループの皆で案を練ったことで、学習したと言う実感があつた。
- 体験したことを皆で話し合ったので、より内容が深まった。
- 皆が意見を出せた。
- 班員と話し合っている時間が有意義だった。
- 班ごとに視点が違い、たくさん学べた。
- 内容を考えたり、発表したりすることはもちろん他大学の人の意見を聞くことができた。
- 様々な人の意見、感想が聞いた。
- みんなの考えが知れた。
- 一人一人が意見を出してまとめられた。
- いろいろな人の意見が聞いたこと。
- 他の班がどのような視点で見ているのかが理解できた。
- 班員の意見に気づかされることがあつた。
- 自分では思いつかない発想があつた。
- 他の班の意見、色々な意見が知れた。
- 皆で意見を言い合えるところ。
- 人のいろんな意見を聞いた。



《チームワーク》

- 時間が少ない中、班で話し合っきちんと意見をまとめたこと。
- グループで協力できたこと。
- チームワークで作業する力が身に付いた。
- バラバラな人が1つの事をするのでチームワークが高まった。
- 一丸となって取り組めたこと。

- 完成に漕ぎ着けたこと。
- いざこざが起きず、皆の意見がまとめられたこと。

《情報共有》

- 他の班の発表を聞いて、自分の班が体験できなかった内容を知ることができた。
- 他の班の発表がためになった。
- それぞれの班で知識を共有できたこと。

《発表技術》

- 順を追って、相手に分かりやすくまとめる力を養えた。
- 自分の考えたことを伝えられた。

《その他》

- 人数が多かったので、班ごとの発表は良いと思った。
- 素敵なパワポがいっぱいあった。
- 発表することによって記憶に残りやすい。
- 質問時間があること。
- 流れがスムーズだった。

Ⅱ-3-8) 発表で改善したほうが良いと思われるのはどのような点か

＜回答者数：14名（特になし：13名）、無回答者数：7名、のべ回答数：15＞

《準備時間》

- 作業する時間が少ない。
- 夜が遅くなること。
- トイレ休憩を入れて欲しい。
- もう少し時間が欲しかったがまとめきれなかった自分たちもいけないと思う。
- 発表する準備時間が少し短いこと。
- 時間が短い。
- 時間が足りない。部屋が違うので、会えなかった。
- お風呂の順番待ちの時間なども発表準備ができれば良かった。
- 準備の時間がなさすぎる。

《班分け》

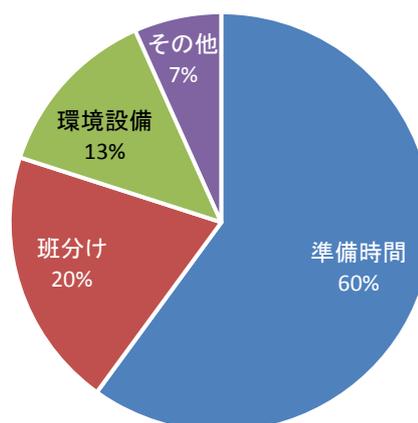
- 女性5人に対して、男性1人だと意見が出しづらかったので、男女比を考慮して班分けをしてほしい。女性だけの班があっても良いと思う。
- 班の発表よりも個人で発表したかった。
- 本人のやる気も関係すると思うが、男女比のバランスが悪く、男性の居心地が悪そうだった。しかし、参加する意欲は見せてほしい。

《設備》

- パソコンをもっと早く貸し出してほしい。
- インターネットが使えなかったこと。

《その他》

- 飼育者目線の発表を取り入れたいと思った。



Ⅱ-4 【今後の食農フィールド科学演習についての質問】

Ⅱ-4-1) この演習についての良い点や改善すべき点等の感想

<回答者数：28名（特になし：3名）、無回答者数：3名、のべ回答数：30>

《改善点・要望》

- 体験実習の作業を増やして欲しい。
- 実習の時間が短く見られなかったところがあるので、もう少し長く取って欲しい。
- もっと実習ができれば良かった。
- さらに多様な実験や実習を取り入れてほしい。
- 全体的に少しスケジュールが詰まっていたので、もう少し時間に余裕が欲しい。
- アンケートの回答時間が短く書きたいことが書けない。
- 時間がおして、質問などができない時があった。
- ヨーグルト作りは一部の人しか参加できず、農場での作業もできないことがあったので、全体的に人数が多すぎると思った。
- もう少し実習にゆとりを持って欲しかった。
- お弁当のバランス（米が多く、野菜が少ない）が悪かった。
- 食事があまり良くなかった。
- 朝ご飯の量が多かった。温かいお茶が飲みたかった。
- 女子も全員、毎日ホット賀茂へ行きたかった。
- 人が多かったので仕方がないが、毎日ホット賀茂に行きたいと思った。
- 別の実習を受けていた東洋英和女学院大学の人が見た映画を見たかった。

《良い点》

- 自分にとって目新しい色々な体験や知識を知ることができた。
- 私はおいしい肉をおいしく食べてもらうための研究、開発に携わりたいと思っていたが、今回の体験で実際に家畜動物との仕事も良いと思った。
- 講義の内容を聞き、それを実習で学べることはとても理解の助けになると思った。
- 様々な分野の人と話をすることができた。
- 発表準備では頭を使った。
- 他大学の人と交流できとても良いと思う。
- TA や先生が親切に指導してくださるので助かりました。
- ホット賀茂（お風呂）が良かった。
- TA や先生の対応が良くて、気持ちよく体験できた。
- 皆と関わることが良かった。
- この実習に来て、学ぶことだけでなく新しく友達ができ、人間関係の面でも有意義な時間となったので参加して良かった。これからも続けてほしい。
- とても楽しくて有意義な時間を過ごせた。
- 身をもって体験できるところが良い。
- 講義も実習も楽しかった。
- 体験が多くてよかった。